

明るくいいき 夢を育む 佐用高校

佐用高だより

No.4 兵庫県立佐用高等学校 平成28年 8月1日



東北ボランティア特集!!

7月16日(土)～18日(金)、宮城県石巻市・南三陸町、教員3名・生徒22名

今年も佐用高校は、兵庫県内高等学校の先陣を切って東北に赴き、宮城県石巻北高等学校の生徒たちと共に現地の仮設住宅にて、本校農業科学科で育てたマリーゴールドなどの花苗約900ポットの植栽を行い、さらに家政科の生徒たちが作った「あさぎり紅茶ケーキ」約150個を仮設住宅の住民に届けつつ清掃活動等を行って参りました。今年は新たに花壇に飾る看板を美術部が作成し、花壇に設置しました。

また、石巻市や南三陸町を巡って津波の爪痕残る現地の様子、そして町中至る所で盛土を行って背の高い道路を作っている様子等を視察すると共に、「語り部」工藤さんによる被災体験のお話に耳を傾けて、豪雨災害を経験した佐用と大震災に襲われた東北の「心」をつなぐ、素晴らしい機会とすることができました。ありがとうございました。



前日(7/15)準備(マリーゴールド・ペゴニア・ニチニチソウ、花壇に飾る看板)



バスの腹部に花苗や看板を積み東北へ運びました。



石巻市追波川(おっぱがわ)仮設住宅団地で清掃活動、看板設置、花壇への花苗植栽活動



植え終わって記念撮影



南三陸復興学びのプロジェクト・工藤さん



かつて町があった所(盛土の様子)



南三陸町防災対策庁舎で献花・黙祷



夜、宿舎で感想を述べる

佐用高校の東北支援活動は、平成23年12月葉牡丹の送付に始まり、今回で8回目となります。現地の様子を目にし、被災された方々のお話を直接聞くことによって、遠い世界で起こったことではなく、自分たちの身にいつ来るとも知れぬ災害に対して常に「備えておく」、さらに被災地に対して「心を寄せ続ける」、そして平成21年8

月の豪雨災害を「決して忘れない」ことが大事であることを学びとることができました。「今年も届けます。佐用の心を東北へ！」を合言葉にこれからも続けて参ります。最後になりましたが、毎年ご支援いただいている兵庫県、兵庫県教育委員会、そして「ひょうごボランティアプラザ」様に対しまして心よりお礼を申し上げます。